※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０２

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「最新　数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート　数学Ⅰ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は主に，ノートやプリントを用いて行います。それらをまとめるためのファイルと，授業で使うノートを用意してください。
・授業は「解説を聞く→解説を基に自分たちで問題を解く→答え合わせをする」という流れで行います。問題を解く際には，自ら考え、周りの人と協働で考える活動をします。
・家庭学習では，問題集の問題をまず自分で解いてみよう。途中式や考え方も書いてください。その後，必ず答え合わせをしてください。間違った問題は放っておくのではなく，必ずノートなどにやり直しをしましょう。自力で解けるまで，何度でもやり直してください。
・考査ごとを目安に問題集などの課題を課します。しっかり学習し，提出してください。

２　学習の到達目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

（１）　数と式、図形と計量、二次関数、データの分析についての基本的な概念や原理や法則を理解し、事象を数学的に捉え、表現、処理する技能を身に付ける。
（２）　数式、グラフ、図形などの関係を理解し、事象を数学的な考え方で分析したり、表現する。
（３）　数学的な考え方のよさに気づき、自らの思考過程を振り返りながら、粘り強く問題解決に取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 数と式	第1節　数と式	a:乗法公式、因数分解の意味などを理解し、目的に応じて式変形することができる。 b:学習した計算方法と関連づけて、式を多面的に考察することができる。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	
		第2節　実数	a:数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応してることを理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。	定期考査 問題集 ノート		
		第3節　１次不等式	a:一次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の理解を深め、式を多面的に捉えて問題を考察することができる。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	
		課題学習 安く買える本数を考えよう	c:身近にある事象を一次不等式を利用して問題解決に活用としている。			観察 ワーク シート
	第2章 集合と命題	集合、命題	a:集合と命題に関する基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身につけている。 b:ベン図などを用いて集合の考えを論理的に考察し、簡単な命題の証明について考察することができる。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	
		課題学習 優勝する条件を考えよう	c:身近にある問題について、命題の考え方を用いて問題解決に活用しようとしている。			観察 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第３章　２次関数	第1節　2次関数とグラフ	a:２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、平行移動を利用し２次関数のグラフをかくことができる。 b:２次関数の式とグラフについて、多面的に考察することができる。 c:２次関数とそのグラフの特徴について関心を持ち、それらを２次関数の問題を解決することに活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ノート
		第2節　2次方程式と2次不等式	a:２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり考察することができる。 c:２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、値の変化や２次方程式・２次不等式の問題を解決すること察に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ノート
		課題学習 利益が最大となる価格を考えよう	c:　身近にある問題について、２次関数の考え方を用いて問題解決に活用しようとしている。			観察 ワークシート
	第４章　図形と計量	第1節　三角比	a:鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、ほかの三角比の値や鋭角の三角比の値を求めることができる。 b:図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、三角比の性質や相互関係を考察することができる。 c:三角比を用いて直接測ることのできない長さや角度が求められることに関心を持ち、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　正弦定理･余弦定理	a:正弦定理・余弦定理を理解し、それを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 b:図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、考察することができる。 c:正弦定理･余弦定理の有用性を認識し、平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ノート
		課題学習 直接測ることのできない高さを測量しよう	c:　身近にある問題について、三角比の考え方を用いて問題解決に活用しようとしている。			観察 ワークシート
3学期	第5章　データの分析	データの分析	a:データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、分散および、標準偏差などの知識を身につけている。 b:複数のデータに対して、分析し問題解決について考察することができる。 c:複数のデータに対して、様々な分析ができることに関心を持ち問題解決に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ノート
		課題学習 冬と夏の気温の関係を調べてみよう	c:　身近にある問題について、データの分析の考え方を用いて問題解決に活用しようとしている。			観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度